

## コロナ禍の子ども達に寄り添い丁寧な対応を

### 1. 児童生徒の教育環境整備について

問) コロナの感染不安から登校を躊躇う子どももおり出欠席扱いの対応を。タブレット等活用した学びの保証、いじめ防止人権教育等対応を。  
**教育長** 欠席とせず出席停止扱いとする。各校オンライン授業や個別対応の検討も指導。感染者への差別や偏見防止等の徹底にも努めている。  
 問) 給食喫食時間確保の要望がある。対応を。  
**教育長** 時間割に25分とうたってはいるが体育の着替えや授業時間の伸び等も影響と、成長期

の大事な給食、喫食時間確保を再度徹底したい。

### 2. 母子健康手帳を時代に即したタイトルに

問) 育児参画のきっかけとして父親や家族の記入欄を設けた親子健康手帳等検討しては如何か。  
**市** 社会情勢や子育て環境も日々変化している。他市や国の動向を見ながら検討したい。

### 3. 通学路・狭隘道路の安全確保を計画的に

問) 通学路の馬出し担当者不足や開発工事で街並みが変わり歩道も無く路側帯も狭い北町五丁目等通学路の安全対策を。(教育部長・市) 地

公明党  
高橋 りょう子



域、学校、関係部署と協議し対応を検討したい。  
 問) 待望の西町三丁目交差点改良工事。足元の段差対策や安全確保を図り無事故で工事完成を。  
**市** ガス・水道管、信号機の移設工事等安全対策を徹底し令和4年度末完成に向け取り組む。  
 問) 立川通り西町五丁目右折レーン設置も引き続き検討を。  
**市** 市道弁天通りと都道立川通りの交差点。東京都とも調整を図り検討したい。

## 救える命が救えなくならないよう支援策を！

◆附属機関、要綱、庁議等の議事録については、市のHPに掲載し市民が見られるようにせよ。  
**答** HPへの掲載を検討する。庁議記録も同様。  
 ◆市と関係する団体は市の施策を理解し踏襲を。  
**皆** 6月15日号の市報に組み込まれ配布された法人の機関誌に市の男女平等表現ガイドラインに沿わないイラストが掲載され、市民から指摘された。法人のHPでは、説明もなくイラストのみ削除され疑問を抱く。市の見解、認識は？  
**市民生活部長** 市の委託業者等は、ガイドライ

ンに準じ適切な表現に取り組んでいただきたい。

◆新庁舎のトイレにトランスジェンダーの方への対応として多機能型とは別に「男女共有トイレ」の設置を。  
**答** 検討すべき課題だ。市民の意見を聞き、わかりやすさを重点に検討する。

◆自宅療養の際、意思疎通が困難な障害者等の方が感染した場合の心配や不安は計り知れない。コロナ禍前から内在している虐待、引きこもり、DV等の問題を抱えている家庭で感染者が発生した場合、支援が届くかとの心配もある。

立憲・市民フォーラム  
皆川 りうこ



**皆** 必要な時に医療機関への問合せができると安心につながる。医師会との調整状況は？  
**健康部長** 自宅療養112人中、生活支援の申込件数は65件。自宅療養者への医療支援強化事業として、都のオンライン診療、往診等療養調整事業に国分寺市医師会も参画し市と連携を図る。  
**皆** 保健所機能がなく限界はあるが、各ケースに耳を傾け多面的な検討や取り組みを求める。

## コロナ対策本部長として責任ある行動を

問) 7月13日の市長の行動について、資料によると、市長就任式、庁議、聖火リレーセレモニーに参加とある。御自身で公開しているHP等では家族に37度超の発熱とあるが、12日か。  
**市長** 37.2度の熱がありPCR検査を受けてもらう。翌日の公務終了後(13日午後)陽性との報告で、私も検査した。翌日(14日)陽性の連絡があり保健所の指示に従っている。  
 問) 12日に発熱、検査を受けたが、結果が出る13日まで、市長は自粛すべきではなかったか。

市の方針・教育委や学校の方針に基本が示されているのではないか。

**市長** 感染者は被害者であり、傷に塩を塗るようなことは言わないで。差別、偏見ではないか。

問) 差別、偏見だ(人権問題だ)とのヤジまで出ているが、それは当たらない。対策本部長として、市民の信頼が保たれるかが重要だ。職員や市民に協力をお願いする関係だから、そのことを質問する責任があると思っている。

**市長** 自分がウイルスを持っていたとしても、

日本共産党国分寺市議団  
中沢 正利



距離、マスク、手洗いなど対策をとったうえで公務に当たった。感染の可能性があると思ったら公務にはつかない。

問) その可能性が重大で、慎重な判断をと言っているのだ。次の質問に移る。

●他に、市内事業者への直接的な支援強化策、テレワークリフォーム助成事業の実施を要求。中小企業への一律10万円支援給付の答弁あり。

## ワクチン促進、PCR拡充、学校の対策強化

### 〈新型コロナワクチン接種の促進を〉

問) 市では7月末までワクチン接種した市内医療機関に1500円/回の補助を実施した。8月以降も補助継続を求める。

**答** 継続はするが、500円/回と考えている。  
 \*赤字覚悟でワクチン接種を実施している医療機関もあり、1500円での補助を求めた。

### 〈PCR検査の拡充を〉

問) 感染症対策の基本原則は。  
**答** 感染源の排除、感染経路の遮断、健康・免

疫の管理があり、この3原則に基づいた対策が重要。

問) 感染源の排除には、感染者の早期発見が重要であり、それにはPCR検査が欠かせない。ところが、日本では世界的に異常なほど検査数が少なく、アフリカ諸国よりも少ない。市としてのPCR検査の拡充を求める。

**答** 今後も、国や都の動向を注視し、感染症の状況等に応じて必要な対策を検討していく。

### 〈学校でのコロナ対策の強化を〉

日本共産党国分寺市議団  
中山 とう



問) 「必要な対策を検討する」といっても、そこにPCR検査の位置づけがないことが問題。例えば、教職員に月4回の検査を3か月続けても約1000万円可能。保護者などの不安の声にこたえて実施することを求める。

**答** PCR検査の実施は予定していない。他に、コロナ対策を子どもたちと一緒に学ぶ教育の充実などを求めた。

## 広がるナラ枯れ 市民からの情報収集を！

◆樹木の伝染病と言われるナラ枯れが広がっている。担当課だけの対応では間に合わない。実態把握と庁内あげての対策を求める。**(答)** 樹木に処理剤を施しラップを巻いている。庁内で情報共有し、継続して有効な対策を検討していく。◆2030年温室効果ガス46%削減に向けて明確な方針を持つべき**(答)** 非常に高い目標。市全域での脱炭素は市民や事業者の協力が必要。市としてできることを整理しまとめる◆プラスチックに係る法律が成立したが、発生抑制・再

使用の視点が弱い。拡大生産者責任の徹底と合わせ、国に対して積極的に意見を！**(答)** 情報収集に努め、必要な意見や要望を行う◆コロナ禍で生活困窮に係る相談が大幅に増加。社協が行う食の支援と連携し、生活困窮者の実態やニーズ把握を！**(答)** 大変重要。状況把握に努め、必要な支援につなげる**(問)** 学習支援はどうか。**(答)** コロナ禍で、夜間の実施を控えるなど、一人当たりのコマ数が少ない状況。リモートによる代替措置は行っているが、居場所の機能も

無会派(国分寺・生活者ネットワーク)  
高瀬 かおる



担っており課題はある。社協と何らか工夫できないか改めて話し合う◆コロナ対策の自宅療養者生活支援では、窓口となる保健師の役割は大きい。保健師の確保は？**(答)** 生活支援の受付にとどまらず、療養に関する不安の軽減や必要な場合には保健所や医師会につなぐ等、保健医療に関する専門職としての役割を果たす。災害時と同様に捉え対応する体制を対策本部で確認。